

## 第2回北陸圏広域地方計画協議会及び第3回北陸地方戦略会議合同会議

### 議事概要

#### 1. 日時

平成21年6月29日（月）13:00～14:20

#### 2. 場所

富山国際会議場

#### 3. 出席者

協議会配布資料を参照

#### 4. 議事

##### (1) 開会

##### (2) 挨拶

- ・国土交通大臣（国土交通技監代読）
- ・北陸圏広域地方計画協議会長

##### (3) 議事

###### 1) 北陸圏広域地方計画 計画原案について

- ・北陸圏広域地方計画 計画原案について
- ・同計画に係る計画提案の整理について

###### 2) 北陸ブロックの社会資本の重点整備方針（素案）について

- ・北陸ブロックの社会資本の重点整備方針（素案）について
- ・同方針に係る計画提案の整理について

##### (4) 意見交換

#### ●新潟県商工会議所連合会会頭

- ・広域地方計画については、よくとりまとめられており、特に問題はない。
- ・社会資本の重点整備方針についても、同様であり、同方針に基づく確実な実行をお願いしたい。
- ・一つだけお願いしたいのは、日本海沿岸東北自動車道路の全線開通について、是非記載願いたい。
- ・特に、同道路については、朝日から温海間が事業化されておらず、重点整備方針にも記載されていない。
- ・昨今、道路のB/Cが指摘される中で、関西から北陸、東北へとつながる同道路が一部つながっていない状況であり、広域的な安全・安心な観光・交流の拡大の観点からも重要な路線であり、また、日本海国土軸の形成の観点からも重要な路線である。
- ・東海北陸自動車道の全線開通によって、富山県でも、石川県でも開通効果が観光・交流の面で見られるようであり、新潟県でも、そのような効果を得ていければと考えていることから、是非関係機関の方々にも応援いただきたい。

#### ●富山県知事

- ・広域地方計画等については、既にある程度方針が決まっている社会資本整備をベースに書くなど記載制約がある中で、精いっぱい前向きな気持ちを出していると受け止めている。
- ・ただ、地方の第一線で、県民の方々や経済団体の方々と話し、県政発展を願う立場から言うと、広域地方計画はイメージは示しているが、具体的な内容を組み込みにくいように感じている。

- ・そのような中で、4点ほど、要望を述べさせていただきたい。

#### 【北陸新幹線と並行在来線について】

- ・北陸新幹線については、年末までの政府・与党の検討を期待しているが、金沢から福井駅まで、また、敦賀駅部の認可、着工について、ぜひお願いしたい。新幹線の整備については、政府・与党で決まっていないため、計画の55ページの表現はやむを得ないと思いつつも、もう少し沿線県の気持ちがにじみ出た記載ができないか、お願いしたい。
- ・並行在来線の経営については、長野県など先行している県では大変厳しいものがあり、当県でも、新幹線が開業した後、JRから経営分離されると、年に20億をかなり上回る赤字が出るという試算がある。
- ・並行在来線は、沿線の人々にとって日常の足であり、「経営安定して維持していく」ということを計画に盛り込んでいただきたい。

#### 【東海北陸自動車道について】

- ・東海北陸自動車道の全線開通によって観光やビジネスの面で大変いい効果が得られているが、小矢部砺波ジャンクションまでの早期の4車線化やスマートインターチェンジ等の整備をお願いしたい。また、計画自体にもう少し整備のニュアンスを盛り込み、北陸地域の住民がこの広域地方計画を読んで明るい気持ちになるような、希望が持てる計画にしてもらいたい。

#### 【港湾について】

- ・環日本海諸国を始めとする東アジアの経済発展の中で、日本海側の物流は、太平洋側に比べて、伸びている。
- ・スーパー中枢港湾の整備を重視する国の方針もあると思うが、是非とも日本海側港湾の国際物流機能の強化についてももう少し強く記載してほしい。

#### 【空港について】

- ・空港については、現在、羽田空港の再拡張にともなう国内路線の充実、地方路線への優先配分について、お願いをしている。また、羽田空港をハブとして国内外の様々な都市への乗継利用の促進やリージョナルジェットを活用など、いろいろな議論がある。国民の関心の高いところであり、それらについて、具体的な記載をお願いしたい。
- ・その他、全般を通じて、防災や環境など、いろいろな取組みを目配りして取り上げていただいております、感謝申し上げます。

### ●金沢市長

#### 【日本海国土軸について】

- ・金沢市からの時間距離について申し上げますと、例えば小浜市までは現状で3時間39分かかるが、高速道路が整備されると、45分短縮される。新潟県の村上市までだと、現状5時間38分かかるが、高速道路が整備されると、約5時間となり、約40分短縮する。新潟県北部や山形県では、高速道路が整備されないと、福島県を経由する方が早い。同様に、出雲大社に行こうとすると9時間25分かかり、大阪経由で行くしかない状況である。
- ・そのような状況下にあって、日本海側の国土軸に配慮すべきであると考えている。
- ・道州制や国土のグランドデザインなどが一方で議論されているが、それらいずれも、日本列島を横に割るような考え方であり、日本海の国土軸が薄れてしまう。
- ・是非とも、日本海国土軸に関する記載を充実してほしい。

### 【防災について】

- ・防災に関して、昨今の洪水等の発生が見られる中で、一級河川の整備が進む一方、準用河川の整備が一向に進まない現状がある。
- ・準用河川の計画延長が全て整備されるには、現在の財政投入状況からでは、38年、あるいは、59年かかるという試算があり、都市内中小河川整備についても、重視してほしい。

### 【公共交通の充実について】

- ・公共交通の充実については、地方でも取り組んでいるが、うまく進んでいないということもある。
- ・富山では、LRT、福井でもえちぜん鉄道等の独自の取組が進んでいるようであるが、より一層の公共交通の充実が必要である。
- ・一人当りの二酸化炭素の排出量を比較すると、自家用車利用に対して、公共交通利用では、4割まで削減が図られるようであり、そのような環境面からも公共交通の充実が必要である。

### ●福井市長

- ・北陸圏が抱える特段の課題については、記載していただいていることに感謝申し上げます。
- ・北陸圏3県の最も影響の大きい大プロジェクトとしては、北陸新幹線がある。北陸新幹線については、是非とも前向きな記載をお願いしたい。
- ・重点整備方針については、計画期間が5年であり、直近での課題としては、公共交通がある。
- ・地方でも個々に公共交通の強化への取組を進めているが、より一層の記載強化をお願いしたい。
- ・また、重点整備方針については、今後、同方針に基づいて、事業が動いていくことと思うが、是非とも柔軟な動きが取れるものとしていただきたい。

### ●朝日町長

- ・並行在来線については、当初「基幹的で重要な広域的路線として、安全で安定した運行の確保を図る」と記載してあったと理解しているが、今はなくなっている。富山県だけではなく、新潟県、石川県、福井県いずれも重要な課題であり、それぞれが考えていけばいいという問題ではない。広域地方計画において、是非とも記載充実をお願いしたい。
- ・朝日町近傍では、新幹線整備にともなって新黒部駅が整備されるが、当該駅へコミュニティバスを黒部市、入善町、朝日町共同で運行することを考えており、当然地方道・県道などの道路整備を考えていかなければならないと考えている。
- ・下新川海岸では、寄り回り波で大きな被害を受けたが、技術の進歩で、秋田沖、青森沖で低気圧が発生した場合、6～8時間で下新川の海岸に到達することが予測できるようになったが、その予測確率は3割程度のものであるので、より予測確率を上げていただくよう、お願いしたい。

### ●新潟県（代理；中俣 土木部技監）

- ・重点整備方針について、災害時、積雪時における速達性、安全性、定時性確保の観点から高規格幹線道路の暫定2車線区間の4車線化について配慮が必要である。
- ・環日本海諸国の経済発展の中で、ゲートウェイ機能の強化を図っていく上で、主要駅と空港とのアクセス改善と高速鉄道を含む地方鉄道の維持を図る観点が必要である。
- ・離島や半島など条件不利地での観光、経済振興の面から航路や航空路の確保、充実は重要な課題であ

り、航路の維持に加え航空路の維持、充実について配慮をお願いしたい。

●福井県（代理；旭 副知事）

- ・北陸圏全体、信越、関西など広域的な発展に関わるものとして北陸新幹線や高規格幹線道路など基幹的な社会資本については、いつまでにどのように整備するのかを明らかにするのが望ましい姿。計画の中で明記し、具体的な圏域形成の方針を示すことが必要。
- ・北陸新幹線については、北陸圏の将来にとって必須のプロジェクトであり、55 ページや 64 ページの表現では「着工区間」と「未着工区間」とに分けて記載されているが、北陸の計画として具体的に記載してほしい。
- ・具体的には、北海道総合開発計画の記載のように、「金沢までの着実な整備と、白山車両基地から大坂までの区間について、所要の事業を進める」と記載することで、北陸や関西の地域づくりに資すると思われるので、提案したい。

（５）閉会（吉野局長）

（以上）